

次世代育成施策の実施状況

1. びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！（ホールの子事業）（23年度～）

(1) 事業の実施状況（28年度）

県内の小学校・特別支援学校等の児童・生徒をびわ湖ホール大ホールに招き、オーケストラと声楽アンサンブルによる音楽公演を開催した。また、参加に要する交通費の補助を行った。

日 時：平成28年6月6日～10日（午前・午後、計10回公演）

場 所：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール

指 揮：下野竜也

管弦楽：京都市交響楽団

独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル

参加者数：115校 8,014人

<過去の実績>

平成23年度（1日2回公演）	26校 2,611人
平成24年度（2日4回公演）	46校 4,222人
平成25年度（3日6回公演）	58校 5,181人
平成26年度（4日8回公演）	89校 6,755人
平成27年度（5日10回公演）	112校 8,367人
平成28年度（5日10回公演）	115校 8,014人

児童の感想

「生の演奏は迫力があって感動した。いろんな楽器があってびっくり。」

「たくさんの人と一緒に歌えて楽しかった。」

先生の感想

「生の音を実際に見て聴いて、全身に音楽の楽しさを感じていた。」

「本物に触れる貴重な経験ができ、子どもの興味や夢にもつながったと思う。」

(2) 事業の成果、課題、今後の取組等

成果

- ・楽器の音や歌声に直に触れることで、音楽的な視野が広がり子どもたちの舞台芸術への関心を高め、感性を育む機会となった。

課題

- ・より多くの子ども達が体験できるよう、未参加校への参加を促すことが必要。
- ・遠方の地域の学校が参加しやすい取組が必要。

今後の取組

- ・市町教育委員会との意見交換や校長会でのPR。
- ・県教育委員会とも連携し、市町の教育関係者や教職員への事業視察の呼び掛け。
- ・他の校外学習と組み合わせての参加の案内。

2. 滋賀次世代文化芸術センターの運営補助（23年度～）

(1) 事業の実施状況（27年度）

感性豊かな文化の担い手の育成および多様な人々と豊かに関わる力の育成を図るため滋賀次世代文化芸術センターが行う連携授業などの事業運営費に対して助成を行った。

① 体験

文化施設、芸術家等と学校等を結び、子どもたちが文化芸術を体験する連携授業を実施

○実施件数:189件・学校数:53校・生徒数:11,200人

小学校:34校(7,912人)、中学校:9校(1,720人)、高等学校:1校(1,073人)、特別支援学校:6校(418人)、適応指導教室:2校(35人)

別室登校分:小学校:1校(10人)、中学校:1校(32人)

()内は生徒数、小学校1校重複

② 育成

ア 登録ボランティア数 82名

内訳

県教育委員会「滋賀の教師塾」27名、滋賀大学 2名、京都橘大学 22名、その他 31名

イ 龍谷大学との連携

体験プログラムへの出演等

③ 研修

ア 夏季研修会

期 日 : 平成27年8月6日 会場: MIHO MUSEUM、県立陶芸の森

対 象 : 学校関係者、文化施設関係者、講師の芸術家等

参加者数: 59名

イ スタッフ等研修会

期 日 : 平成27年12月15日 会場 : 守山市生涯学習・教育支援センター

対 象 : スタッフ、ボランティア

参加者数 : 16名

ウ スキルアップミーティング

期 日 : 平成27年12月25日 会場 : 県立陶芸の森

対 象 : 文化施設関係者、講師の芸術家等

参加者数 : 26名

④ 連携・協働

ア 教育委員会等との連携

- ・教育委員会生涯学習課「学校支援メニューフェア」への出展
- ・県観光交流局との連携によるミシガン大学の研修生の受け入れ
- ・東近江市教育委員会、近江八幡市教育委員会へ研修講師派遣

イ 県外との交流

- ・福井県坂井市教育委員会視察受入れ
- ・創造都市ネットワークへの参加

(2) 事業の成果、課題、今後の取組等

滋賀次世代文化芸術センターが行う連携授業により、多くの子どもたちに本物の文化芸術に触れ、創造する機会を提供することができた。

さらに、子どもが本物の文化に触れる機会の充実を県全域へ発展させる必要がある。

3. 美ココロ・パートナーシップ事業（27年度～）

(1) 事業の実施状況（27年度）

様々な事情により通常学級に通えない（別室登校・不登校）児童・生徒等を対象に、文化芸術体験プログラムを提供し、様々な芸術に触れる機会を提供することにより、子どもたちの豊かな心をはぐくむとともに、若手芸術家を本事業の講師として活躍できる「美ココロ・パートナー」として育成した。

① 美ココロ・パートナーシップ会議の開催

次世代の育成に関わる文化関係団体、文化施設、大学、文化コーディネーター、芸術家、行政等によるネットワーク会議（パートナーシップ会議）を開催し、本事業の検討・検証の場とするとともに、次世代育成のための情報交換や連携強化の場とした。

第1回 平成27年7月30日

第2回 平成27年12月15日

第3回 平成28年2月15日

②美ココロ・パートナーシップ補助金

連携授業により、多くの子どもたちに本物の文化芸術に触れ、創造する機会を提供し、また、文化ボランティアの育成、教員研修等でノウハウと実績のある滋賀次世代文化芸術センターに対し、様々な事情により通常学級に通えない（別室登校・不登校）児童・生徒等を対象に文化芸術体験プログラムを提供するとともに、若手芸術家を本事業の講師として活躍できる「美ココロ・パートナー」として育成するための補助を行った。

○補助先 滋賀次世代文化芸術センター

○参加校 守山市立小津小学校、守山市立守山小学校、近江八幡市立安土小学校、栗東市児童生徒支援室、栗東市立栗東中学校

○参加生徒数 延べ37人

○事例研修会の実施

期 日：平成27年12月15日 会場：守山市生涯学習・教育支援センター

対 象：学校関係者、文化施設関係者、講師の芸術家等

参加者数：54名

○美ココロ・パートナーの育成

陶芸家：3名、音楽家：3名

(2) 事業の成果、課題、今後の取組等

滋賀次世代文化芸術センターに補助することにより、不登校児童など内面に課題を持つ子どもたちが文化芸術に触れる機会をつくることができた。

さらに、子どもが本物の文化に触れる機会の充実を県全域へ発展させる必要がある。

4. 滋賀県次世代文化賞（23年度～）

(1) 事業の実施状況（28年度）

国内外の水準の高いコンクールや展覧会等で最優秀賞等の成績を修めるもしくはその活動において将来を一層期待される個人または団体（おおむね19歳以上30歳以下）に贈られる賞。若手芸術家の育成・支援を目的として平成23年度より創設。

平成28年度受賞者 西川 礼華（美術）、久末 航（音楽）

～過去の受賞者～

平成23年度	藤井俊治（美術）、松本大樹（音楽）
平成24年度	北川安希子（美術）、西川茉莉奈（音楽）
平成25年度	中川彩（音楽）、中嶋俊晴（音楽）、藤永覚耶（美術）
平成26年度	杉本 優（音楽）、唐仁原 希（美術）
平成27年度	岡本 里栄（美術）、高岸 卓人（音楽）

選考方法

市町長、市町教育長、県本庁各課、文化団体、県内大学等（関西2府4県、中部8県、首都圏1都3県の大学）より推薦を受け、滋賀県文化賞等選考懇話会の意見を聞いて受賞者を決定する。

受賞者には、賞状（盾）および銀杯を贈呈するとともに、作品・演奏等を発表する機会を提供（文化プログラムフェスティバル事業次世代芸術フェスティバル）。

(2) 事業の成果、課題、今後の取組等

成果

- ・若手芸術家を顕彰することにより、今後の活動の励みとなった。

課題

- ・特定の分野に偏ることなく、幅広い分野から推薦されるべきである。

今後の取組

- ・今後、推薦団体の見直しについて検討する。

5. 文化プログラムフェスティバル事業次世代芸術フェスティバル（平成28年度新規）

(1) 事業の実施状況（28年度）

発表の機会の提供および国内外で活躍する芸術家の指導等により、県内若手芸術家のレベルアップを図り、東京オリパラ・国体に向け、これからの滋賀の文化を担う若手を育てるとともに、地域とのつながりを強め、若い世代から滋賀の特色ある文化を発信することを目的に、びわ湖☆アートフェスティバルを開催。次世代文化賞受賞者等が参加。

主 催	滋賀県、公益財団法人滋賀県文化振興事業団、 文化プログラムフェスティバル事業実行委員会
共 催	公益財団法人びわ湖ホール

協 力 株式会社しがぎん経済文化センター

内 容

① びわ湖ホール会場 平成28年9月18日(日) <参考：H28参加者数 2,200人>

○若手芸術家による公演

次世代文化賞受賞者の公演、県内ジュニアオーケストラと国内外で活躍するアーティストとの共演等

○実技指導セミナーの開催

若手芸術家など若者を対象に、日本を代表する芸術家による実技指導セミナーを実施し、フェスティバル当日に成果発表公演を実施

○アートフリーマーケットの開催

若手作家による作品の展示販売

② 近代美術館会場 平成28年8月30日(火)～9月4日(日) 6日間

<参考：H28参加者数 720人>

○美術作品展示

「次世代文化賞受賞者展」の開催

○ワークショップの実施

展覧会期間中(9/3)に、出展者によるワークショップを開催

③ 学校会場 <参考：H28参加者数 1,100人>

○ 作品展示・ワークショップの実施：若手芸術家の活動の場の提供や地域との連携強化をめざし、地域の方々や子どもたちにとって身近な場所である学校での作品展示、児童を対象とするワークショップなどのアート活動を実施

・ 大津市立仰木の里東小学校×成安造形大学学生 平成28年9月5日～16日

・ 東近江市立布引小学校×画家・吉田友幸 平成28年10月11日～21日



(2) 事業の成果、課題、今後の取組等

成果

・若手芸術家等が広く県民に向けて自身の活動を発表する場を設けることができた。

また、単なる発表だけでなく、ワークショップを開催するなど参加者との交流の場を設けることができた。

・普段は個々に活動している若手芸術家が共演することで、若手芸術家間のネットワーク形成を促すことができた。

課題

・来場者は出演者の関係者の割合が多かったため、より多くの一般県民に取組を知ってもらうことが課題である。

・若手芸術家側、お客さん側双方にとって価値のある事業とするため、取組を広げ発展させていく必要がある。

今後の取組

- ・公演内容や広報を見直し、より効果的に実施できるよう実施方法・形態を考える。
- ・学校会場開催地を公募で募るなど、より参加しやすい事業となるよう工夫する。

6. 新生美術館見本市事業（「美の糸ローアートにどぼん！」） （26年度～）

(1) 事業の実施状況（28年度）

「美の滋賀」の入り口・拠点として平成32年春にオープン予定の新生美術館のコンセプトを視覚化し、多様な美の魅力などを親子連れで気軽に楽しめるワークショップを中心としたフェスティバルを、県内を中心とした団体・施設・作家の方々など幅広い参画を得ながら開催。

日 時：平成28年11月3日（木・祝）

場 所：滋賀県立近代美術館および周辺の公園内

プログラム：31プログラム（ワークショップ28、ライブパフォーマンス3）

参画者数：27団体・人

来場者数：2,600人

（これまでの実績）

平成26年度	実施プログラム	22	来場者数	1,700人
平成27年度	実施プログラム	28	来場者数	2,500人



(2)事業の成果、課題、今後の取組等

成果

- ・ 普段近代美術館に来られない小さな子どものいる家族をはじめ、多くの県民が美術館に足を運び、新生美術館への期待感を持っていただく機会となった。
- ・ 県内の作家や大学等の関係者による実行委員会を組織するとともに、ワークショップには多くの作家や団体に出展してもらうことで、新生美術館の開館に向けた幅広いネットワークの構築につながった。

課題

- ・ 来年度より近代美術館が休館するため、開館までの3か年は美術館以外の会場で開催を継続していきたいと考えている。これまでの実績を活かしつつ、新生美術館の開館に向けてより一層の期待感の醸成や地域との連携を図ることが必要である。

7.「学校にアートがやってきた」推進モデル事業（27年度で終了）

(1)事業の実施状況（27年度）

身近な場所で美術作品の展示を進め、鑑賞教育につなげるとともに、若手芸術家の育成支援を行うため、空き教室を若手芸術家等のアトリエとして使用するとともに、若手芸術家の絵画、造形作品を小学校に一定期間貸与し、校内の踊り場や廊下等で作品発表の場の提供を行う。

目的① 若手芸術家の育成支援

芸術家の活動場所の提供（作品の制作場所・材料、発表の機会の提供）

子どもたちとの交流により気づき、ひらめきを得ることにより作品の幅を広げる

目的② 子どもたちの鑑賞教育

子どもたちが身近な場所で芸術に触れられる機会をつくる。芸術の鑑賞の仕方、楽しみ方を学ぶ

※若手芸術家と子どもたちがお互いのやりとりのなかで双方向に刺激し合い、一緒に高まっていくことを狙う

(2)事業の成果、課題、今後の取組等

成果

- 事業に参加した学校、芸術家にはおおむね満足いただけた
- 半数以上の芸術家が「作品発表の機会ができた」「地域や関係機関との連携が図れた」と感じており、事業を通して活動の場の提供・地域とのつながりを作るという面で一定の支援ができた。

- 子どもたちの独創的な発想による作品づくりや作品を見た時の感想は芸術家にとっておおいに刺激を与えたと考えられる。アンケートでも約半数が「今後の制作に役立つ気づきがあった」と回答しているほか、「今回のワークショップで使った制作方法を自分の作品作りに取り入れてみたい」「子どもたちはこんなふうを感じるんだなと勉強になった」という感想を芸術家から直接いただいている。
- 学校からは通常の図工の授業ではなかなか経験できない体験ができたことを喜ぶ声が多く、子どもたちの鑑賞教育という面においても一定の効果があったものと考えられる。

課題

○広報

「当事業が自身の広報につながった」と回答した芸術家は30%（13人中4人のみ）であった。一部TVや新聞で取り上げていただいたものの、芸術家の今後の活動につながるような広報にまではつながっていない。

○学校と芸術家の希望のすり合わせ

アンケートの中に、「図工科のネタ探しとして利用された部分がある」という回答があった。事業の実施にあたっては、設備や授業との兼ね合いなどもあるため、学校にとっても芸術家にとっても納得できるような事業とすることが課題である。

平成28年度「未来の文化の担い手の育成」に係る取組（県立文化施設）

○【重点施策3】子どもが本物の文化に触れる機会の充実

プログラム名	実施施設	内容	対象者	H28実績および実施予定	参加者の感想
学校団体向け美術館鑑賞プログラム	滋賀県立近代美術館	美術館を訪れた学校団体を対象に、美術館サポーターの引率による作品ギャラリートークと、ワークショップ（アートゲームや作品製作など）からなる美術館鑑賞プログラムを用意している。	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・その他小中学生の団体	平成28年度は65団体、のべ2,127名が来館し、プログラムを体験した。	「グループ毎に解説員の方が児童を引率して作品解説をしていただけたとは思ってもいなかった。とてもありがたかった」「印象に残る作品がたくさんできて、良かったと思う」「展示品の鑑賞だけでなく、アートゲームなども取り混ぜて多くの児童生徒が楽しめるようにプログラムを組んでいただいていたのが良かった」
アウトリーチプログラム	滋賀県立近代美術館	美術館職員とサポーターが学校や公民館等に出向いて、芸術に触れるためのプログラムを実施している。内容は作品の複製図版を用いたアートゲームなどが主で、要望に応じて作品製作を実施することもある。	子ども、一般	平成28年度は県内小学校、子ども会等を中心に18回、のべ2,248名を対象に実施した。（12月末現在）	「たくさんの作品を見ることができてよかった」「絵でじゃんけんやかかるたをするのがおもしろかった」「作品を見てうまくことばを考えるのが難しかったけど面白かった」「アートゲームは子どもたちがコミュニケーションを取りあうためのツールとしてよくできている。ふだん引っ込み思案な子どもが、自分の言葉で話した姿を見て感激した」
「アートゲーム・ボックス」「鑑賞授業プログラム・パック」等鑑賞教育支援教材の貸出	滋賀県立近代美術館	近代美術館が制作した美術鑑賞教育支援教材を、希望する学校へ貸し出す。	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校	貸出件数 ・アートゲーム・ボックス 5件 ・鑑賞授業プログラム・パック 2件	「簡単に美術鑑賞教育の授業が実践できたので助かった」「美術だけでなく他の教科にも応用できそうな教材だった」「子どもたちに教室で世界の名画に触れさせることができる素晴らしい教材でした」「使用法がビデオでわかりやすく解説されているので良かった」
たいけんびじゅつかん	滋賀県立近代美術館	小中学生と保護者を対象とした美術講座。展示室でのギャラリートークや、鑑賞体験をより深めるワークショップを通して、美術に親しむ機会を提供する。	小中学生と保護者（参加申込制）	開催回数：10回（12月末現在） 参加者数：591人（一部大人を含む）	・家でできないことが体験できてよかった。 ・子どもと一緒にわいわい言いながらできて、普段よりたくさん触れ合えてよかった。 ・普段子どもが見せない表情をしていたのが新鮮だった。
子ども向けワークショップ	滋賀県立近代美術館	①「びっくりミュージアム」【参加申込制】 夏休み期間中（8月上旬）、主に小学生を対象に、「推理・体験・想像・発見」をテーマにした様々なワークショップイベントを開催。 ②「生まれ変われ名画！わたし流・作品スケッチ大会」【参加申込制】 主に小学生を対象に、美術館の名品を鉛筆で自由に模写してもらい、彩色後、完成した作品を展示する。 ③名画でびっくりコラージュ【自由参加】 ゴールデンウィークや文化の日等に、親子で楽しめるイベントを実施。	子ども、一般	①開催日：7月23日・24日、8月3日・6日・7日 参加者：115人 ②開催日：7月9日・10日・17日・18日 参加者：115人 作品展示（ギャラリー）：8月13日～18日 点数：88点 ③開催回数：11回 参加者：909人	『びっくりミュージアム』：「いろんな材料を好きなように使って作れたので良かった」「はかせと作品を見るのも、みんなでいっしょに作るのも楽しかった」 『作品スケッチ大会』：「毎年子どもたちが楽しみにしている。他館に例の無いイベントなので今後も継続して欲しい」 『名画でびっくりコラージュ』：「気軽に飛び入り参加できたので良かった」「美術館に来たついでに楽しい時間を過ごせました」
子どものための管弦楽教室第13回	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	【公演名】子どものための管弦楽教室13 ～リズムってなあに？～ 【開催日】平成29年年3月12日（日）14:00開演 【料金】大人：2,000円、子ども（4歳～中学生）1,000円 料金（税込） 【出演者】指揮：藤岡幸夫 管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団 【内容】 どこかで聴いたことのある曲や、子どもたちにぜひ聞いてもらいたい名曲の数々を、日本を代表する指揮者 藤岡幸夫率いる関西フィルハーモニー管弦楽団のフルオーケストラ演奏でお贈りします。 子どもたちが楽しみながら学べるように工夫を凝らしたオリジナルプログラムでリズムを大解剖！行進曲やワルツのリズムの聴き比べや、楽しいリズム遊びのプログラムも！毎年大人気の指揮者体験コーナーもお楽しみに！！	子ども大人	【開催予定】 平成29年3月12日（日）14:00開演	事業未実施のためアンケートはありません。

プログラム名	実施施設	内容	対象者	H28実績および実施予定	参加者の感想
東京バレエ団 子どものためのバレエ『ドン・キホーテの夢』	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	【公演名】東京バレエ団 子どものためのバレエ『ドン・キホーテの夢』 【開催日】平成28年7月27日（水） 16:00開演 【料金】大人：3,000円、子ども(4歳～中学生)2,000円 料金（税込） 【出演者】演出・振付：ウラジミール・ワシーリエフ 音楽：レオン・ミンクスほか 振付指導：ウラジミール・ワシーリエフ、斎藤友佳理 【内容】 子どものためのバレエ『ドン・キホーテの夢』は、世界中のバレエ団がレパートリーとしている『ドン・キホーテ』を、ウラジミール・ワシーリエフ自身が再演出し、子ども向けバレエにアレンジしたものを国内トップレベルのバレエ団である東京バレエ団が上演するものです。子どもたちだけではなく、これまでバレエを見たことが無い大人にとっても本格的な舞台芸術に触れ感動を味わう機会を提供します。	子ども 大人	【開催日】平成28年7月27日（水） 16:00開演 【入場者数】 1,096人 ※関連事業としてバレエ入門講座を実施 【バレエ入門講座（全3回）】 バレエ全般についてのお話や鑑賞のコツなど初めてバレエを見る方でもわかりやすく楽しめる講座です。 【開催日】平成28年5月29日（日） 平成28年7月27日（水） 平成28年11月13日（日） 【講師】松 あつこ（舞踊ジャーナリスト） 【会場】びわ湖ホールリハーサル室、ピアザ淡海 207会議室 【料金】全3回通し券：4,000円（自由席・公演鑑賞チケット込）	【お客様の感想】 ・若々しくフレッシュな感じでよかったです。夏休みの子供向きなので、サンチョパンサの解説、馬の会場歩き良かったと思います。大人の私的にはもっと長く見たいのですが・・・特別価格で鑑賞できて感激です。（女性 40代 兵庫県） ・色々な場面で子供向け（楽しませる）の内容が取り入れられ大変良かったです。「子どものための～」という企画の思いがすごく伝わってきました（男性 40代 大津市内） ・せっかく娘2人がバレエを習っているのに、教室の発表会以外できちんとして公演を鑑賞したことが無く、機会を探していたところ「子どものための」ということで気軽に機会が得られました。ありがとうございました。（女性 40代 京都府） ・キトリとバジルがすごぐきれいだった（女の子 11歳 大津市内） ・このバレエ団はととてもうまくて感動しました（女の子 9歳 大阪府） ・バレエがしたいです（女の子 4歳 大阪府）
子どものためのシェイクスピア『オセロー』	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	【公演名】子供のためのシェイクスピア『オセロー』 【開催日】平成28年8月28日（日） 14:00開演 【料金】大人：3,500円 子ども(6歳～中学生):2,000円（税込） 【出演者】作：W.シェイクスピア 翻訳：小田島雄志 脚本・演出：山崎清介 出演：山崎清介、河内大和、大井川皐月 ほか 【内容】 シェイクスピア作品の面白さを誰にでも分かりやすく舞台化した、大人にも子どもにも大好評のシリーズ。シェイクスピア没後400周年の今年は、『オセロー』をお届けします。	子ども 大人	【開催日】平成28年8月28日（日） 14:00開演 【入場者数】 298人 ※関連事業としてシェイクスピア講座を実施 【シェイクスピア講座】 初心者の方を対象とした、シェイクスピアについて楽しく学べる講座。シェイクスピアの魅力を紹介しながら、びわ湖ホールで上演されるシェイクスピア作品「オセロー」と「マクベス」についてもお話します。 【開催日】6月4日（土）14:00開講 【講師】河合祥一郎（東京大学教授） 【会場】コラボしが21 3階大会議室 【料金】1,000円（自由席）	【お客様の感想】 ・久しぶりに娘とみせていただきました。より一層楽しい作品になっておりました。（女性 50代 大津市内） ・初めてのシェイクスピアのお話。とてもおもしろくて2時間あっという間でした。また見に来たいです（女性 40代 湖南地域） ・迫真の演技ですばらしかった。シェイクスピアの作品に触れる機会となりました。感動しました。見ごたえのある舞台をまた観たいです。（女性 40代 大津市内） ・最後がとても恐くてどきどきしたけど、最初の方はおもしろかったののでよかったです。また、見たいです。（女の子 8歳 大阪府）
おいしい、おかしい、おしばい『わかったさんのクッキー』	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	【公演名】おいしい、おかしい、おしばい『わかったさんのクッキー』 【開催日】平成28年8月20日（土） 16:00開演 平成28年8月21日（日） 11:00開演 【会場】中ホール舞台上舞台 【料金】大人：3,000円、子ども(4歳～中学生):1,000円 【台本・演出】岡田利規 【原作】『わかったさんのクッキー』 寺村輝夫 【美術】金氏徹平 【劇中歌作曲】前野健太 【出演】椎橋綾那、古屋隆太、山崎ルキノ、笠木 泉、佐々木幸子 【内容】 人気の児童書『わかったさんのクッキー』を舞台化。台本・構成をチェルフィッチュの岡田利規、舞台セットを現代美術家の金氏徹平、劇中歌をシンガーソングライターの前野健太が手掛けたユニークな舞台。不思議な魅力が満載です。 【おはなし】 クリーニング屋の「わかったさん」。洗たく物にはいつていた「かぎ」を返しにいったはずが、不思議なマンションに迷い込み、クッキーづくりの「かぎ」を体験することに....。	子ども 大人	【開催日】平成28年8月20日（土） 16:00開演 【入場者数】157人 【開催日】平成28年8月21日（日） 11:00開演 【入場者数】169人	【お客様の感想】 ・子どもが見立てをどうみるか、どうひきこまれていくのかを楽しみにみてました。ワクワクしました。（女性 20代 兵庫県） ・創造力が必要だと思いました。（女性 60代 湖南地域） ・これまで観たたくさんのお芝居と違い、とても衝撃的でした。観に来て良かったです！（女性 30代 大阪府） ・再演があったのでこれました。原作のように長年愛される舞台になるよう毎年公演されてはいかがでしょう。（男性 30代 大阪府） ・円形の舞台でみんなが入り込める話になっていた。（男性 20代 京都府） ・クッキーを作るところが楽しかった。（女の子 4歳 大阪府）

プログラム名	実施施設	内容	対象者	H28実績および実施予定	参加者の感想
びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！ (ホールの子事業) (学校鑑賞事業)	滋賀県立 芸術劇場 びわ湖 ホール	【公演名】びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！ (ホールの子事業) 【開催日】平成28年6月6日(月)～10日(金)各日10:30/14:00開演 【指揮】下野竜也 【管弦楽】京都市交響楽団 【司会】黒田恵美、竹内直紀、古屋彰久(6/8のみ) 【脚本・構成】中村敬一 【独唱・合唱】びわ湖ホール声楽アンサンブル 【曲目】 R.ワーグナー：歌劇『ローエングリン』より 第3幕への前奏曲 ブラームス：ハンガリー舞曲 第5番 ＜みんなで歌おう♪＞翼をください ほか 【内容】 子ども達に本物の舞台芸術に触れていただくために、県内の小学生を対象に、大編成のオーケストラとびわ湖ホール声楽アンサンブルによるコンサートを大ホールで開催します。	県内小学生	延べ115校 8,786人	いろいろなおんがくがきけてよかった。 つばさをお願いたのしかった。 スターウォーズたのしかった。 びわ湖ホールはじめてでたのしかった。 楽器の音がきれい。 指き者の役割を初めて知った。 歌を歌っている人がきれいで、すごい。 オペラの声がおおきくてすごくびっくりした。
みんなで作ろう！ オペラ『森は生きている』	守山市民 ホール 八日市文 化芸術会 館 近江八幡 市文化会 館 みずほ文 化セン ター	【公演名】みんなで作ろう！オペラ『森は生きている』 【開催日】守山公演(学校向け公演) 平成28年11月10日(木) 八日市公演 平成28年11月19日(土) 近江八幡公演 平成28年11月20日(日) 彦根公演 平成28年12月3日(土) 【料金】一般1,000円 中学生以下500円 【演出】中村 敬一 【ピアノ】寺嶋陸也 【出演】びわ湖ホール声楽アンサンブル 【内容】 ロシアの児童文学サムイル・マルシャークの原作を湯浅芳子が訳した作品をもとに、林光が台本を作成したオペラ『森は生きている』。初めて見るオペラにぴったりの作品を、さらに気軽に楽しめる1時間程度の特別バージョンに新制作し、びわ湖ホール声楽アンサンブルがキャストを務め県内各地で上演します。各公演地では、地域の皆様に合唱や小道具制作など様々な形でご参加いただき、地域と一体となって作り上げていきます。 なお、教育委員会と連携して学校向け公演としても上演いたします。	一般、子ども向け 守山公演のみ 学校向け公演	守山公演(学校向け公演) 917人 八日市公演 345人 近江八幡公演 270人 彦根公演 275人	—
学校巡回公演	県内小学 校、中学 校	【学校巡回公演】 びわ湖ホール声楽アンサンブルメンバーが滋賀県内の学校でコンサートを開催します。体育館をステージに変え世界の歌・日本の歌・オペラの名曲をたっぶり演奏。平成13年度から毎年約10校訪問しています。 【日程】 平成28年5月9日 米原市立河南小学校、彦根市立高宮小学校 平成28年5月10日 東近江市立愛東小学校、甲賀市立雲井小学校 平成28年5月13日 長浜市立高月小学校、長浜市立田根小学校 平成28年5月17日 大津市立伊香立中学校、守山市立明富中学校 平成28年5月20日 大津市立仰木の里小学校、大津市立坂本小学校	県内小学生 県内中学生	米原市立河南小学校 134人 彦根市立高宮小学校 502人 東近江市立愛東小学校 108人 甲賀市立雲井小学校 99人 長浜市立高月小学校 287人 長浜市立田根小学校 67人 大津市立伊香立中学校 45人 守山市立明富中学校 493人 大津市立仰木の里小学校 201人 大津市立坂本小学校 380人	—
ふれあい音楽教室	県内小学 校	びわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーが、滋賀県内の小学校で音楽の授業を行います。ミニコンサートや合唱指導など、楽しく学べるプログラムで音楽の楽しさを身近で伝えます。	県内小学生	【平成28年度実施予定】 平成29年2月15日(水)稲枝北小学校、旭森小学校、春照小学校 平成29年2月16日(木)亀山小学校、坂田小学校 平成29年2月17日(金)稲枝東小学校、坂田小学校、大原小学校	事業未実施のためアンケートはありません。

プログラム名	実施施設	内容	対象者	H28実績および実施予定	参加者の感想
オペラへの招待 マスネ作曲 歌劇『ドン・キホーテ』 (全5幕)	滋賀県立 芸術劇場 びわ湖 ホール	【公演名】オペラへの招待 マスネ作曲 歌劇『ドン・キホーテ』(全5幕) (フランス語上演・日本語字幕付) 【開催日】平成28年8月 6日(土)、7日(日) 14:00開演 【料金】一般:5,000円、青少年(25歳未満):2,000円、シアターメイツ:1,000円 【指揮】園田隆一郎 【演出・お話】菅尾 友 【管弦楽】日本センチュリー交響楽団 【出演】びわ湖ホール声楽アンサンブル 【内容】これからオペラを観てみたい方にもオペラ通という方にもお薦めのオペラへの入門シリーズ。びわ湖ホール声楽アンサンブルがキャストを務め、名作オペラを特別仕立てでお届けします。上演前には物語や舞台の解説もあり、お子さまから大人までお楽しみいただけます。 お馴染みのストーリーが洗練された音楽で綴られるマスネの名作『ドン・キホーテ』。バス歌手を主人公とした珍しいこのオペラを、新進気鋭の演出家 菅尾 友を迎えてお贈りします。	子ども 大人	【開催日】平成28年8月6日(土) 入場者数602人 平成28年8月7日(日) 入場者数634人 ※関連事業としてオペラ講座を実施 【講座名】オペラ講座 歌劇「ドン・キホーテ」(初級編) 【開催日】平成28年5月7日(土)10:00開講 【講師】東条碩夫(音楽評論家) 【会場】コラボしが21 3階大会議室 【料金】1,000円(自由席)	【お客様の感想】 ・菅尾さんの説明で、舞台の具体的なお話が聞けてとてもよかった。センチュリーの演奏も素晴らしかった。風車のシーンが印象的。舞台装置も現代的で素晴らしかった(60代女性・大津市内) ・演出について、設定の時代を忠実に再現したようなものが好みでしたが、今回の象徴的・抽象的な演出も良いものだと感じかされました(20代女性・大津市内) ・映画のような演出、演奏、演技、そして歌唱、素晴らしいです(映画が芸術度が高いという意味ではなく)。まさに息をもつかせないような緊張感をオペラで味わうことができました(60代男性・三重県) ・上演の稀なもの、大変だったと思う。マスネの美しさがよく出ていた。全体的に色彩など地味だが、舞台をはみ出しての投光が冴えていた(80歳男性・広島県) ・とにかく曲が美しく、歌い手の技術が高い。宗教的な場面にはついていけないがそれも気にならず。原演出でみてみたい(50代女性・大阪府) ・歌声がすばらしい、すごくよかった。古典と、舞台・踊りの近代的との調和が、飽きずに観ることができて観に来てよかったです(50代女性・湖東地域) ・ドウルシネとても良かったです。登場でリフトで上がって気品がありました。4幕、悲しみに満ちた感情がとても伝わってきてドラマティックでした(50代女性・兵庫県) ・いろいろな人が出てきてすごかったのと、声がとても高かったのがびっくりしました(9歳女の子・大津市内)
オペラへの招待 ドニゼッティ作曲 歌劇『連隊の娘』 (全2幕)	滋賀県立 芸術劇場 びわ湖 ホール	【公演名】オペラへの招待 ドニゼッティ作曲 歌劇『連隊の娘』(全2幕) (フランス語上演・日本語字幕付) 【開催日】平成29年2月11日(土)、12日(日)14:00開演 【料金】一般:5,000円、青少年(25歳未満):2,000円 シアターメイツ:1,000円 【指揮】園田隆一郎 【演出・お話】中村敬一 【管弦楽】大阪交響楽団 【出演】びわ湖ホール声楽アンサンブル 【内容】これからオペラを観てみたい方にもオペラ通という方にもお薦めのオペラへの入門シリーズ。びわ湖ホール声楽アンサンブルがキャストを務め、名作オペラを特別仕立てでお届けします。上演前には物語や舞台の解説もあり、お子さまから大人までお楽しみいただけます。 高音が続く超難曲アリアで有名なドニゼッティの名作を、びわ湖ホールで研鑽を積むメンバーと園田隆一郎の指揮、中村敬一の演出により、オペラが初めての方でも楽しめる舞台を新制作で上演します。	子ども 大人	【開催予定】平成29年2月11日(土)、12日(日)14:00開演 ※関連事業としてオペラ講座を実施予定 【講座名】オペラ講座 歌劇「連隊の娘」(初級編) 【開催日】平成29年1月21日(土)10:00開講 【講師】中村敬一(演出家) 【会場】コラボしが21 3階大会議室 【料金】1,000円(自由席)	事業未実施のためアンケートはありません。
ラ・フォル・ジュルネ びわ湖2016	滋賀県立 芸術劇場 びわ湖 ホール ピアザ淡海	【公演名】ラ・フォルジュルネびわ湖2016 【開催日】平成28年4月29日(金)～5月1日(日) 【会場】大ホール、中ホール、小ホール有料公演は3歳から入場可 ピアザ淡海有料公演は0歳から入場可 【料金】2,000円～500円 【会場】ピアザ淡海 にゃんばら先生の音楽アトリエ 湖畔広場 キオスク 【料金】無料	子ども 大人	4月29日 有料公演 6公演 来場者数 3,739名 無料公演 7公演 来場者数 2,540名 4月30日 有料公演 16公演 来場者数 8,390名 無料公演 21公演 来場者数 9,880名 音楽アトリエ 25公演 来場者数 3,504名 5月1日 有料公演 16公演 来場者数 8,883名 無料公演 24公演 来場者数 10,280名 音楽アトリエ 32公演 来場者数 5,078名 合計 147公演 52,294名	【お客様の感想】 ・大阪フィルと大植さんのコンビはやはりゴールデンコンビです。このコンビでアルプス交響曲を聴くのは三度目ですが今回が一番感動しました。(女性 50代 京都府) ・桐蔭のI吹奏楽とても楽しめた。レパートリーが多くお客さんによって曲も変えていてよかった。練習風景がもしろかった。(女性 30代 大阪府) ・お天気も良く、素晴らし公演の間に、湖畔を散歩し、まさに今年のテーマ”la nature”を満喫しました。来年がまた楽しみです。(女性 40代 大阪府) ・湖畔での大阪桐蔭の演奏圧巻でした。ロビーでの高島少年少女合唱団の歌声も可愛くて楽しかったです。(女性 40代 東近江地域) ・午後のひと時に5つものコンサートをはしごできるなんて全く贅沢の極みです。いずれも熱演で満喫させていただきました。(男性 60代 湖北地域) ・子どもの音楽の興味の導入としてもとてもよかったと思います。(女性 40代 大津市内)

プログラム名	実施施設	内容	対象者	H28実績および実施予定	参加者の感想
びわ湖ホールまるっとステージツアー	滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール	【公演名】びわ湖ホールまるっとステージツアー 【開催日】平成28年8月25日(木) 11:00～／14:00～ 平成29年1月21日(土) 11:00～／14:00～ 【料金】大人:500円 子ども:500円 【内容】 めったに立つことのできない大ホールの舞台。普段は入ることのできない楽屋エリア。機材のなるほど話やびわ湖ホールの開館エピソードなど、劇場をまるっと体験できるツアーです！	子ども 大人	【開催日】 平成28年8月25日(木) 11:00～ 37名／14:00～ 44名 【開催日】 平成29年1月21日(土) 11:00～／14:00～ 92名	【お客様の感想】 ・普段入る事ができない所を見せて頂いて、今まで見た事のあるバレリーナ達がここを使って、この舞台で踊っていたと思うと感激しました。又、オペラは1度も見た事が無いのですが興味が持てました。(女性 30代 大津市内) ・初めて参加させて頂きましたが、とても楽しかったです。実際に動いたり、動かせたり体験できたのが良かったです(女性 50代 湖南地域) こういった大きな舞台裏・装置の数々を見せて頂いたのは初めてのことで大変勉強になりました。以降、舞台を見るときには、より一層興味を持ってみることになると思います。(女性 70代 大津市内) ・スポットライトを浴びたり、床が動いたりして楽しかったです(女の子 9歳) ・スポットライトを使えて楽しかった(男の子 10歳)
公益財団法人びわ湖ホール 自主事業	滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール	びわ湖ホールが主催する公演では青少年、子どもに配慮した様々な料金設定を行い、若者や子どもが舞台芸術に触れる機会の充実に努めています。平成28年度の公演では、U30席(30歳以下)、U24席(24歳以下)、青少年(25歳未満)、子ども(4歳から中学生)、子ども(6歳から中学生)、シアターメイツ料金、青少年割引当日券等を各公演の内容に応じて設定しています。	青少年 子ども	びわ湖ホール主催の自主事業全般	
滋賀県次世代創造 発信事業 古典芸能キッズワークショップ	滋賀県立文化産業 交流会館	邦楽(箏)と日本舞踊の初心者対象のワークショップ。演奏技術だけでなく礼儀作法の習得や仲間づくりにも配慮し発表会に向け稽古を重ねる。 また、県下全域から参加できるように夏休みに体験ワークショップも開催。	幼稚園・保育園 (年長)から小学 6年生まで	【文化産業交流会館】 ・夏休み古典芸能体験ワークショップ 1day体験 平成28年8月2日(火) ①10:30～ ②14:00 47人 古典芸能 ・邦楽部門 平成28年7月～11月(33回) 10人 ・邦舞部門 平成28年7月～11月(33回) 14人 【成果発表】 ・平成28年11月3日(木・祝) 長栄座「お好み演芸会」 入場者数301人	【平成28年11月3日(木・祝)成果発表 来場者の感想】 ・友人のお孫さんが演奏されていて、大変上手にできたと思います。 ・キッズの演奏が大変上手で素晴らしく、久しぶりに感動しました。 ・日本舞踊は、実に見事に踊り、箏の演奏もピッタリ揃っていて、日本の伝統を今一度思い起こさせました。 ・箏、日本舞踊を鑑賞し、子どもたちの心温まる演奏、舞踊に感動しました。 ・子ども達の演奏と舞踊が、昨年より向上していました。
滋賀県次世代創造 発信事業 次世代文化芸術推進事業 アートのじかん	滋賀県立文化産業 交流会館	学校現場において音楽(クラシック音楽、邦楽)、日本舞踊、ダンス、演劇の文化芸術プログラムを実施する。文化施設がアーティストと学校をつなぎ、子ども達に文化芸術に触れる楽しさや感動を伝える。 県域を対象に滋賀文化元気室と分担して実施する。	県内の小・中学校 および特別支援学校の児童・生徒	【実施校数】 23校 (小学校:17、中学校1、特別支援学校4、盲学校1)(クラシック16、邦楽7) 【参加者数】 549人(12月末)	【児童・生徒の感想】 ・今日のアートのじかで、音楽に前よりもっと興味を持ちました。 ・小さい頃からピアノを習っているけど、あまり好きではありません。でも、今日のお2人の活き活きた音楽を聴いて、早くピアノを弾きたくなりました。 ・あんな楽器もあるんだなあとか、こんな音の出し方もあるんだなあとか楽しかったです。 ・私はマリンバを初めて生で見ました。身近で聴けて、とても迫力があってびっくりしました。二人の息がピッタリで良い経験になりました。 【担当教諭ほか学校の感想】 ・本物の音楽に触れるというのは良いものですね。アーティストのお2人の真剣な表情に合わせるように子供たちの表情も真剣になり、ともに音楽を楽しんでいる様子が伝わってきました。

プログラム名	実施施設	内容	対象者	H28実績および実施予定	参加者の感想
滋賀県次世代育成ユースシアター事業 音楽劇「美味しいメロディ」	滋賀県立文化産業交流会館	県内に在住・在学の小学校4年生から一般を対象に、舞台に立つ機会を提供することにより、文化芸術の楽しみに触れ、創造力と活力にあふれた青少年の育成を図ることを目的に実施する。	滋賀県内に在住・在学の小学校4年生から一般まで	滋賀県次世代育成ユースシアター事業 音楽劇「美味しいメロディ」 舞台に立つための稽古経験を通して、次代を担う子どもたちが豊かな人間関係を築き、世代を超えた人と人との絆を育む事業として制作。 現在、公募によるキャスト、合唱団に加え高校の軽音楽部、吹奏楽部の総勢146名によるグランドフィナーレを披露する舞台づくりを創作中。 平成28年12月18日 1回公演 会場：滋賀県立文化産業交流会館 イベントホール 出演者：146人 稽古・リハーサル回数：延46回 入場者：460人	【公演来場者の感想】 ・歌あり、踊りあり、劇ありで満足です。演出も素晴らしく音楽劇を初めてみましたが楽しかったです。 ・映像と照明が効果的に使われていて、この広い舞台をうまく使ったとても楽しい作品だった。 ・子どもから大人まで混ぜての演劇は初めてで面白かった。マーチングバンドは初めてで感動しました。 ・ストーリーが全く読めず、意外な展開ばかりでよかった。音楽の芸術性は高かった。 ・一足早いクリスマスプレゼントをいただいた気分です。華やかな舞台、とても楽しかったです。 ・音楽劇ということでお芝居になるのかな？と思っていましたが芝居しつつダンスや演奏としっかりできていました。見ているこちらも踊りたくなりました。 ・まさか、吹奏楽部のマーチングが出るとは・・・驚きと同時に楽しかった。
琵琶湖博物館わくわく探検隊	滋賀県立琵琶湖博物館	毎月第2土曜日に来館者を対象として行う体験学習。各回ごとに異なるテーマを設け、琵琶湖博物館はしかけグループ「びわたん」が、館外の有識者とも連携しながら実施している。	特に限定せず（小学生4年生以下の場合は保護者同伴）	・9月10日（土）：マイクロアクアリウムを楽しもう【参加者33名】 ・10月 8日（土）：バイカル湖の魚たちを見てみよう【参加者39名】 ・11月12日（土）：秋の色がし 【参加者26名】 ・12月10日（土）：綿に触れてみよう 【参加者30名】 ・1月 14日（土）：水鳥を観察してみよう 【参加者35名】 ＜※以下実施予定＞ ・2月11日（土）：化石のレプリカをつくってみよう ・3月11日（土）：火起こし体験	・初めてプランクトン採集をさせてもらいました。日頃じっくり観察することのないプランクトンをじっくり観察させて頂き、視野が広がりました。先生方、スタッフの皆さんがとても親切で質問にもやさしく分かりやすく解説して下さい、うれしかったです。1日ありがとうございました。 ・実際にスケッチすると、いつもじっくりと見ない魚をくわしく観察することができました。バイカル湖の説明も、とてもおもしろかったです。また参加したいです。ありがとうございます。 ・同じドングリでもいろいろな色があってステキな作品ができました。子どもたちも一生懸命作って出来上がりを喜んでいました。帰ってからパパに見せたいと思います。ありがとうございました。 ・親子でとても楽しめました。また参加したいです。
第24回企画展示開館20周年記念びわ博カルタ	滋賀県立琵琶湖博物館	当館は開館から20周年を迎え、展示を大幅リニューアル。この舞台裏にある数々の「新発見」を、52枚のかるた形式のパネルでたどる。驚きの大発見から、地道なフィールドワークの裏話まで、盛りだくさんの内容。ご家族で気軽に遊べるかるた体験コーナーも設置。	特に限定せず	開催期間：9月17日（土）～（平成29年）1月31日（火） 【参加者 37,368名】（1月25日現在） 1月2日（月）：びわ博カルタ大会 【参加者21人】 1月3日（火）：貝覆い（貝合わせ）を作って遊ぼう【参加者42人】 1月4日（水）：びわ博カルタ大会 【参加者24人】 1月5日（木）：貝覆い（貝合わせ）を作って遊ぼう【参加者35人】 1月6日（金）：びわ博カルタ大会 【参加者24人】 1月7日（土）：貝覆い（貝合わせ）を作って遊ぼう【参加者33人】 1月8日（日）：びわ博カルタ大会 【参加者24人】 1月9日（月）：貝覆い（貝合わせ）を作って遊ぼう【参加者48人】 1月15日（日）：百人一首ミニ講座＆競技かるた模擬試合を見てみよう【参加者12人】	・親子でカルタを作れたのが楽しかったです。 ・子どもが自分でカルタを作るコーナーはとてもいいです。みんなで楽しく制作していました。 ・自分たちの故郷、琵琶湖に子どもたちもさらに関心を持てたようです。 ・実物の大型カルタで遊べて、子どもたちも大満足でした。 ・滋賀のことがたくさん知れて楽しかったです。 ・子どもたちも興味津々で良かったと思います。 ・見ていだけで楽しいです。色々知らない事だらけで勉強になりました。 ・カルタにすることで琵琶湖や滋賀県の自然や文化歴史について楽しくわかりやすく学ぶことが出来ました。カルタの写真もインパクトのある物が多く目を引かれ興味を持ちました。子どもたちも楽しんで見ていました。 ・孫が楽しそうにカルタを作っていました。とても良い企画だと思いました。
学校団体向け体験学習	滋賀県立琵琶湖博物館	各種学校（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学など）の教育カリキュラムも踏まえつつ、実習室・セミナー室・生活実験工房などを利用した体験講座を実施	県内外の学校団体	平成28年度受入れ団体数474校 【入館児童・生徒数 35,830名】（12月31日現在） （内訳 小学校23,420名 中学校6,600名 高等学校2,957名 特別支援学校661名 大学など2,192名）	
ミュージアムスクール	滋賀県立琵琶湖博物館	展示見学と学芸員の講義を通して、琵琶湖や滋賀のことについて学習を深める。	県内の学校団体	・5月28日（土） 6月18日（土） 11月19日（土） 平成28年度受入れ団体数1校（県内中学校）	
うみっこ通信	滋賀県立琵琶湖博物館	琵琶湖博物館の学芸員が、担当している研究や博物館の活動を紹介。	（小学校高学年を想定）	・10月発行：第16号 「少なくなってしまった魚たち」【WEB版のみ】	

プログラム名	実施施設	内容	対象者	H28実績および実施予定	参加者の感想
観察会・見学会	滋賀県立琵琶湖博物館	さまざまなテーマに沿った観察会・見学会を県内外で実施。	特に限定せず ※一部行事は小学生以上 (個々の行事ごとに小学生以下にかかる保護者同伴規定を設ける)	・ 7月17日(日): 里山体験教室(夏)～里山の夏を楽しもう～【参加者32名】 ・10月2日(日): 化石観察会【参加者28名】 ・10月16日(日): 里山体験教室(秋)～里山の秋さがし～【参加者42名】 ・11月5日(土): 朽木の森の観察会～新展示ジオラマの本物を見に行こう！～【参加者11名】 ・11月26日(土): 秋の里山 宝物をさがしにいこう【参加者11名】 ・1月3日(火): お祭り見学会【参加者125人】	○朽木の森の観察会 ・森林について興味深い話をたくさん教えていただき、植物についてもっと知りたいと学ぶ意欲を持つことが出来ました。 ○里山観察会(夏・秋) ・いつも里山の季節を感じられるような発見・体験を楽しく親子共々できるので。 ・普段は山に行くことがないので、子どもにとっても新鮮だし、親にとっても勉強になりました。 ・娘が虫の先生に色々聞きたくて、必死で虫をさがし聞きに行く姿を見られ嬉しく思いました。 ・子どもを自然の中で遊ばせることができたので良かったです。
博物館で楽しもう	滋賀県立琵琶湖博物館	博物館の展示内容に関連した講座を館内(近隣エリア含む)で実施。	特に限定せず ※一部行事は小学生以上 (個々の行事ごとに小学生以下にかかる保護者同伴規定を設ける)	・8月6日(土): 生き物コレクション(昆虫類)【参加者17名】 ・8月20日(土): 生き物コレクション(甲殻類・寄生物・その他無脊椎動物・固有種)【参加者8名】 ・8月27日(土) 生き物コレクション(鳥類)【参加者6名】 ・9月24日(土): マイクロアクアリウム－プランクトンでピンゴー【参加者12名】 ・12月3日(土): 暮らしと魚【参加者15名】 ・12月4日(日): カヤネズミ観察会とカヤストラップ作り【参加者36名】 ・12月4日(日): 第2回カヤ・サミットーカヤネズミ保全のための生態研究と展示ー【参加者98名】 ・12月24日(土): バイカルの生き物: バイカルアザラシ、バイカル湖の固有種、バイカル湖の中継ライブ映像等の紹介【参加者30人】	○生き物コレクション(昆虫類): 展示を作成する狙いや意図などが分かって良かった。 ○生き物コレクション(鳥類) ・子供のよい勉強になった。 ・琵琶湖をもっと大切にしたいと思います。展示を見るだけではわからないエピソードが聞けてよかったです。 ・滋賀とくに湖岸でみられる鳥のことが多くよかったです。「鳥はいても採って標本にするわけにはいかない」の言葉に「そうかあ！！」「つらい一面だー」と思いました。オオワシのところで多くの方が立ち止まっていたし、子どもたちも「オーツ」と声を上げていた。実物のはく力ですねー！！ ・ていねいに説明してもらえた。 ○カヤネズミ観察会とカヤストラップ作り ・かわいいストラップができてよかったです。野生のカヤネズミに会いたかったです。 ・はじめて実物のカヤネズミを見ましたがとてもかわいらしかったです。 ○第2回カヤ・サミット ・稲刈りの逃避するカヤネズミの映像がとても印象深かった。館内のカヤネズミの生体展示はとても興味をひかれた。 ・周辺のカヤネズミの巣を探して写真に記録したいと思いました。
田んぼ体験	滋賀県立琵琶湖博物館	水稻とくらしに関連する体験教室を当館生活実験工房にて実施。	特に限定せず (小学生以下の場合は保護者同伴)	・7月24日(日): 昆虫採集【参加者60名】 ・9月11日(日): 稲刈・ハサ掛け(早稲品種)【参加者36名】 ・10月2日(日): 稲刈・ハサ掛け(晩稲品種)【参加者13名】 ・11月23日(水・祝): 収穫祭【参加者36名】 ・12月23日(金・祝) しめ縄づくり 【参加者45人】 ＜※以下実施予定＞ ・2月11日(土・祝) わら細工	
つちっこプログラム (滋賀県立陶芸の森 & 世界にひとつの宝物づくり実行委員会)	滋賀県立陶芸の森	「つちっこプログラム」は、、滋賀県立陶芸の森の「子どもやきもの交流事業」と陶芸の森内で行う「世界にひとつの宝物づくり実行委員会」が相互に協力し合いながら、地域の陶芸家やボランティア、学校などと協働して、子どもたちや障がい者に琵琶湖からの贈り物といえる信楽の「土」を用いて、ものをつくることの喜びや感動、本物の芸術を体験できる教育プログラムを提供し、次世代の心豊かな人材の育成に努めています。	子ども(幼児から大学生)	「子どもやきもの交流事業」 ①来園プログラム 13件、1310人 ②出張授業Ⅰ 106件 7,109人 ③来園制作(ねんどと遊ぶ)5件 238人 ④教育関係者等研修会 1件 13人 合計 125件 8,670人 「世界にひとつの宝物づくり実行委員会」 ①来園制作 53件 2,420人 ②出張授業Ⅱ 25件 609人 ③美ココロ事業 9件 121人 ④見学 2件 44人 ⑤研修 3件 44人 合計 94件 3,238人	☆子どもたちの感想 ・うれしかったことは世界にひとつだけのたぬきをつくったことです。そして楽しかったことは陶芸館で作品を観たことです。お茶わんに描かれた染付けがきれいでした。 ・実際に作ってもっともっと信楽焼のことを知りたいなと思いました。 ☆教員の感想 ・専門家に指導していただいて、粘土をさわるのが苦手な児童も楽しんで土をさわることでできてとてもよかった。 ・信楽焼を体で感じるとても充実した学習ができました。知識だけでなく実際、見て感じて体験できたので子どもたちがとても生き生きとした姿を見せました。計画段階からとても親切に相談にのっていただき、当日は安心して学習に臨むことができました。

プログラム名	実施施設	内容	対象者	H28実績および実施予定	参加者の感想
書庫見学会の実施	滋賀県立図書館	利用者が日頃目にすることがなく、要望も高い書庫内の見学(年3回実施)を通して、資料の収集、整理や保存の大切さを知ってもらうとともに、貴重なものを含む、様々な資料を身近に見ていただくことにより、文化芸術に触れるきっかけとなる機会を提供する。	子ども、一般	①みどりのつどいフェスティバル 地下書庫探検(みどりの日):76人参加 ②夏休み文化ゾーン子ども探検隊(夏休み期間):67人参加 ③文化の日文化ゾーン探検隊(11月3日):62人参加 計205名参加	「実際に貴重な資料を見られるのは、良い体験だと思います。」「古い地図を見せていただき良かったです。」「普段目にしたことのない地下書庫や、貴重な郷土資料を身近に体験することができ、感動しました。」
忍者になってみよう	滋賀県立安土城考古博物館	忍者衣装を身に着け、講義と実演、展示見学を通じて忍者の実像について学ぶ。	小学生	平成28年8月14日(日)参加者13名 平成29年3月12日(日)実施予定	・「3月にもまた体験したいです(8月14日参加者)」等、再度参加希望あり。忍者についての講義も内容は難しいながら、子どもたちは楽しんでいたと保護者の方から感想をいただいています。
糸績み体験・機織り体験	滋賀県立安土城考古博物館	苧麻(カラムシ)から採った繊維を糸にする「糸績み体験」とその糸で布を織る「機織り体験」を行い、古代の布織り技術を体験する。	来館者全般	平成28年7月23日(土)参加者20名 7月30日(土)参加者33名 8月6日(土)参加者18名 8月20日(土)参加者30名 8月27日(土)参加者27名 5回計128名	・「弥生時代の地機を体験は、他ではあまりなく、貴重な体験でした。」「技術をもった方に直接指導してもらうことで、機織りについて理解を深められた。」
勾玉をつくろう	滋賀県立安土城考古博物館	本物の勾玉を展示室で観察した後、蠟石(ろうせき)を削って本物そっくりの勾玉を作る体験をする。	小学生	平成28年8月27日(土)参加者12名	・「博物館も案内していただけて、その間にいろいろなお話を聞けてとても良かったです。」「楽しく歴史を学べて良かったです。」
子ども学芸員	滋賀県立安土城考古博物館	博物館敷地内に移設されている明治時代の小学校建築「旧柳原学校校舎」の中で、当時使用された教科書に触れ、明治時代の小学校について調べ、考え、その成果をパネルにして公開するという学芸員の仕事を体験する。	小学校高学年～中学生	平成28年8月6日(土)参加者1名	参加者の小学校6年生の女の子は、歴史を学校で習いはじめて興味をもち、学芸員体験に参加してくれました。帰宅後母親に明治時代の本物の教科書を観察した話、それを展示ケースに陳列した話等、今日の学芸員の体験を事細かに話してくれたとのことです。作成したパネルの原稿は、小学校の自由研究として提出することになったようです。
写真撮影ワークショップ「近江風土記の丘」の文化財を撮ろう！	滋賀県立安土城考古博物館	博物館の屋外展示である文化財建造物を対象に、文化財撮影に携わってこられた写真家寿福滋氏の指導による撮影技術を体験する。	高校生～一般	平成28年10月15日(土)参加者8名	・「今後も文化財撮影に関するワーキングの入った講座を開いてください。」
各種体験学習(学校団体)	滋賀県立安土城考古博物館	①勾玉をつくろう②火おこし③土器に触れよう④お茶挽き体験⑤整理作業見学	小学生～大学生	①4月15日(金)参加者43名(岡山小)、10月26日(水)参加者2名(東近江市学校教育課児童生徒成長支援室) ②4月15日(金)参加者43名(岡山小)、4月21日(木)参加者65名(桐原小)、4月22日(金)参加者22名(老蘇小)、4月26日(火)参加者55名(安土小)、4月27日(水)参加者6名(守山中)、5月12日(木)参加者52名(安土小)、参加者29名(武佐小)、8月28日(日)参加者28名(子ども観光大使in近江八幡)、11月10日(木)参加者57名(八日市北小学校)、11月11日(金)参加者17名(栗東中) ③4月20日(水)参加者13名(鳥居本養護学校)、4月22日(木)22名(老蘇小)、4月26日(火)参加者55名(安土小)、5月10日(火)参加者36名(近江兄弟社小)、5月12日(木)参加者52名(安土小)、10月27日(木)参加者7名(滋賀県聾話学校)、12月2日(金)64名(蒲生北小) ④10月27日(木)参加者7名(滋賀県聾話学校)、11月18日(金)参加者12名(甲良養護学校) ⑤4月15日(金)参加者43名(岡山小)、5月2日(月)参加者138名(東山中)、5月18日(水)参加者156名(愛知県・東郷中)、7月2日(土)参加者35名(成安造形大学)、8月9日(火)参加者5名(秦荘中)	・「教室よりも集中して勾玉の制作に取り組んでいた。」「(勾玉体験引率教員)、「火起こしにもう一度チャレンジしたい。」「(火起こし体験参加児童)、「貴重な体験ができた」「(土器に触れよう引率教員)「お茶という身近なものから歴史を知り、お茶の色や香りも子供たちにとって貴重な体験でした。」「(お茶挽き体験引率教員)

○【重点施策4】若手芸術家等の育成・支援

プログラム名	実施施設	内容	対象者	H28実績	参加者の感想
沼尻竜典 オペラ指揮者セミナー	滋賀県立 芸術劇場 びわ湖 ホール	【公演名】若杉・長野音楽基金 沼尻竜典オペラ指揮者セミナーⅡ 「ドン・ジョヴァンニ」指揮法 【開催日】平成28年8月10日（水） 平成28年8月11日（木・祝） 平成28年8月12日（金） 【講師】沼尻竜典（指揮者／びわ湖ホール芸術監督） 【管弦楽】大阪交響楽団 【ピアノ】平塚洋子、湯浅加奈子 【出演】びわ湖ホール声楽アンサンブル、ソロ登録メンバー、ほか 【受講生】事前に公募で選ばれた5名 【演習曲】モーツァルト作曲 歌劇『ドン・ジョヴァンニ』より 序曲、 主要アリア、アンサンブル 【料金】3日間通し券 一般：5,000円 青少年(25歳未満)：2,500円 1日券 一般：2,000円 青少年(25歳未満)：1,000円 【内容】 オペラ指揮者を志す若い音楽家のためのセミナーを公開。講師はドイツ・リューベック歌劇場の音楽総監督も務め、欧州・日本等で多くのオペラを指揮している沼尻竜典 びわ湖ホール芸術監督です。	指揮者・指揮者 を目指す者	【開催日】平成28年8月10日、11日（木・祝）、12日（金） 【受講生】5名 【聴講生】378名	【聴講生の感想】 若い指揮者のみなさんの真剣な指揮ぶりに感動しました。沼尻先生も大変気さくで、楽しませていただきました（女性 60代 大阪府） 公共施設の利用企画としてすばらしい。できればもう少し料金が安いとよかった。沼尻さんのトークというか指導も適切かつ絶妙で楽しむことができた（男性 40代 東近江地域） 最近、講座とか勉強できる機会が多くてうれしいです。（女性 40代 大津市内）
小山由美 歌曲研修Ⅱ	滋賀県立 芸術劇場 びわ湖 ホール	【公演名】若杉・長野音楽基金 小山由美ドイツ歌曲研修Ⅱ 【開催日】平成28年11月28日（月）～30日（水）14:00開演 【料金】3日間通し券 一般：2,000円 青少年(25歳未満)：1,000円 【講師】小山由美（メゾ・ソプラノ） 【ピアノ】寺嶋陸也、中橋健太郎左衛門 【受講者】びわ湖ホール声楽アンサンブル・メンバー 【内容】 ドイツ・シュトゥットガルト在住の日本を代表するメゾ・ソプラノ歌手小山由美を招き、ドイツ歌曲の歌唱法など実践的なメソッドを学ぶセミナー第2弾。今年は3日間にわたり開催します。	びわ湖ホール 声楽アンサン ブル	【開催日】平成28年11月28日（月）～30日（水） 【受講生】びわ湖ホール声楽アンサンブル 【聴講生】438人	【聴講生の感想】 ・また来年も小山先生のドイツ歌曲研修を聴講したいです。是非Ⅲを企画して下さい。（女性、30代、鳥取県） ・増田さんの歌声を聴いている内に、私もなんとかブラームスにチャレンジをしたいと真剣に思います。身の程知らずですが…？（性別不明、70代、奈良市） ・三日間聞かせていただきました つい先生のレッスンがあまりに一生けんめい聞いたので大変つかれました 緊張が聞き手まで伝わり、今日はドイツ語の詩が読めるくらい発音の勉強になりました。（女性、60代、大津市内）
びわ湖ホール声楽アンサンブル運営	滋賀県立 芸術劇場 びわ湖 ホール 県内ホール 県外ホール	びわ湖ホール独自の創造活動の核として、ホール開館の年に設立。ソリストとしての実力は言うまでもなく、アンサンブル、合唱の中核となり得るバランスのとれた声楽家により構成されています。びわ湖ホール自主公演への出演を主な活動としていますが、依頼を受けて全国各地でも公演活動を行っています。専任指揮者は本山秀毅氏。 【主な出演公演】 ・びわ湖ホール オペラへの招待シリーズ ・びわ湖ホール声楽アンサンブル定期公演 ・びわ湖ホール声楽アンサンブル東京公演 ・びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！（ホールの子事業） ・ラ・フォル・ジュルネびわ湖 ・学校巡回公演 ・ふれあい音楽教室 ・地域協働公演 など	びわ湖ホール 声楽アンサン ブル 16名	【出演公演】 平成28年8月6日（土）、7日（日） びわ湖ホール オペラへの招待「ドン・キホーテ」 平成29年2月11日（土）、12日（日） びわ湖ホール オペラへの招待「連隊の娘」 平成28年10月23日（日）沼尻竜典オペラセレクション「ドン・パスクワレ」 平成28年9月3日（土）びわ湖ホール声楽アンサンブル 第61回定期公演 平成28年12月24日（土）びわ湖ホール声楽アンサンブル 第62回定期公演 平成29年3月25日（土）びわ湖ホール声楽アンサンブル 第63回定期公演 平成28年9月6日（火）びわ湖ホール声楽アンサンブル 東京公演vol.9 平成28年6月6日（月）～10日（金） びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！（ホールの子事業） 平成28年5月9日（月）、10日（火）、13日（金）、17日（火）、20日（金） 学校巡回公演 平成29年2月15日（水）、16日（木）、17日（金） ふれあい音楽教室 平成28年11月10日（木）、19日（土）、20日（日）、12月3日（土） みんなで作ろう！オペラ「森は生きている」 ほか	—
滋賀県次世代創造 発信事業 滋賀県邦楽・邦舞専門 実演家養成事業	滋賀県立 文化産業 交流会館	邦楽・邦舞部門の若手・中堅実演家が、より専門的な音楽・舞踊知識を深めることで、技術の向上を図る。成果発表として、芝居小屋「長栄座」公演に出演するなど、トップラスのアーティストの指導と共演の機会を提供する。 また、しゅはり団員については、古典芸能キッズワークショップ講師、次世代文化芸術推進事業「アートのじかん」邦楽部門派遣アーティストを務める。 高等学校等文化芸術活動ジャンプアッププロジェクトの成果発表会をエキシビジョンとして同日開催。 ゲスト 武田旺山（尺八）、藤田英典（太鼓）	15歳以上～59 歳以下 プロ・アマ問わず	【邦楽部門】 8人 授業日数：10日 【邦舞部門】 4人 授業日数：27日 邦楽邦舞専門集団「しゅはり」在籍数 25人 【修了公演】 平成29年2月12日（日） 【エキシビジョン】 高等学校等ジャンプアッププロジェクト日本音楽部門（成果発表会）	【平成27年度 修了公演来場者の感想】 ・邦楽邦舞の専門実演家を養成する部門を立ち上げ、発表の場を設けられ県民として嬉しい限りである。今後も次世代への継続と養成に期待したい。 ・邦楽邦舞の技術を身につけられ、集大成が拝見でき素晴らしかった。日頃、目にしない美しい姿と曲に心洗われました。 ・高校の箏曲部で活動していますが、どれもすごく楽しい曲で聴いていて楽しかったです。特に最後の曲は物語が想像でき良かったです。挑戦してみたいと思いました。

プログラム名	実施施設	内容	対象者	H28実績	参加者の感想
夢キラリ文化基金コンサート 新春コンサート 湖国の明日をになう 和楽器奏者たち	滋賀県立文化産業交流会館	当事業団が設けた「夢キラリ文化基金」を活用し、若き箏の演奏者たちに発表とトッププロとの共演の機会を提供して、その活動のレベルアップを図る。 また、コンサートを通して箏曲部の活動を広く県民に周知するほか、同会場の賑わいを創出する。 伊吹高等学校箏曲部、大津高等学校邦楽部、長浜北星高等学校箏曲部、彦根東高等学校箏曲部 ゲスト 片岡リサ(箏・地歌)	県内高等学校の箏曲部	平成29年1月5日(木) 14時開演 東近江市立能登川図書館 集会ホール 入場無料 伊吹高等学校箏曲部、大津高等学校邦楽部、長浜北星高等学校箏曲部、彦根東高等学校箏曲部 出演部員数 38人 入場者:130人	【公演来場者の感想】 ・若い人たちが奏でる音色が新鮮で楽しかった。 ・素晴らしいコンサートをありがとうございました。これからも頑張ってください。 ・先生をはじめ高校生の意気込みが伝わってきました。幸せ生な年明けとなりました。 ・一部の若いフレッシュな演奏、二部の本格的な演奏、初めての私でもよく理解できました。 ・高校のクラブでこんなにもたくさんの人が邦楽部を頑張っていることに驚きました。 ・練習の成果が十分発揮されていて感心しました。プロの音色に心が「ふわっ!」となりました。 ・初めて箏曲を聴きました。いいものですね。
第21回湖国を描く絵画展(高校生部門)	滋賀県文化振興事業団 滋賀文化元氣室	高校生部門は、技術面にとられずに、キラリと光る才能を発掘することを目的に第16回展より設置した。一般部門の審査基準とは異なり、技術やバランス面が多少不足していても、作品の持つ可能性や色彩感覚、物のとらえ方、表現の仕方、感性等、作品の醸し出す「才能の芽」を大切にし、審査している。 また、高校生部門への応募者は、作品の入選・選外を問わず、審査員による講習会に参加できる。	高校生(定時制高校を含む)	第21回湖国を描く絵画展(高校生部門) 平成28年10月4日(火)～11月1日(火) 県内3会場 高校生の部:応募者9人(一般部門を含む応募総点数278点) 平成27年度高校生の部:応募者5人	「若い人の作品に審査の講評があったのは鑑賞の手引きになり良かった!」高校生作品にはアドバイスがあり今後の作品制作に役立つと思います」と言った感想があった一方で、「高校生たりとも全作品(出品)展示は展示会レベルを低くしている」と言う絵画展全体としての質を問う意見も見られた。
第35回滋賀県ピアノコンクール	滋賀県文化振興事業団 滋賀文化元氣室	日頃からピアノ演奏に励む県内の児童生徒ならびに30歳未満の学生・一般の方に練習の成果を発表する機会を提供し、音楽追求への意欲ならびに音楽に対する意識の高揚を図ることを目的に開催する。部門別に課題曲を設定し予選を行い、通過者によるコンクールを実施。	滋賀県在住、在学、在勤の小学生から一般(30歳未満)	第35回滋賀県ピアノコンクール 予選 176人 平成28年12月17日(土)、23日(金・祝)、24日(土) 会場:草津アマカホール 本選 48人(予選通過者) 平成29年2月19日(日) 会場:野洲文化ホール	少子化傾向にある中、高い参加者数を維持し、コンクールのレベルも上がっている。 ※参加者数: H25年度156人→H26年度163人→H27年度180人→H28年度176人
湖国新進アーティストによる演奏会 ザ・ファーストリサイタル2017	滋賀県文化振興事業団 滋賀文化元氣室	県内の新進音楽家を対象にオーディションを行い、日頃の研鑽の成果を発表する場の提供と、地域の音楽家として、幅広く活躍するために必要なアートマネジメント研修を実施し、技術・知識を身に付ける機会とする。 全国の大学の音楽学部・学科・コースへ滋賀県出身の在籍者・出身者を照会し、オーディションに応募していただき、リサイタルの力量がある人材のデビューコンサートをびわ湖ホールの小ホールで開催する。	滋賀県出身、在住、在学、在勤の新進音楽家	オーディション 応募者11人 平成28年9月25日(日) 会場:文化産業交流会館小劇場 リサイタル 平成29年3月11日(土) 会場:びわ湖ホール小ホール 出演:岩崎弓乃(ヴァイオリン)、吉延祐里子(フルート)、秋津緑(声楽)	【平成27年度 湖国新進アーティストによる演奏会 ～ザ・ファーストリサイタル2016～ 会場:びわ湖ホール小ホール 来場者の感想】 演奏に鳥肌が立つほどでした。 学生とは思えませんでした。 これからの大変楽しみです。 新人のリサイタルとしてはとても上手だった。 県内出身の方なので、応援したいと思って来ました。お二人とも、まだまだ若くていらっしゃるので、これからも頑張ってください。素晴らしいかったです。 など、今後の活躍に期待を寄せる声を多くいただいた。
陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス事業 スタジオ・アーティスト受け入れ事業	滋賀県立陶芸の森創作研修館	創作研修館では、陶芸家を志す方、また豊富な知識と活動実績を持つ陶芸家の方々に、「創作の場」を提供するアーティスト・イン・レジデンス事業を実施している。このアーティスト・イン・レジデンス事業で、平成28年度末までに、50ヶ国、のべ1100人程度の陶芸家、美術家を受け入れてきた。 研修受講料:31,700円/月	陶芸についての基礎知識と経験がすでにあり、応募の時点で原則として20才以上50才未満の方。	10ヶ国から、延べ46人を受け入れた(比較的若い層の作家の参加が多いがその対象を若手作家に限ってはいない)。 ※平成28年度予定実績	アンケートによれば、9割がたが、その滞在について満足しているとのこと。

○【重点施策5】文化活動を支える人材(アートマネージャー等)の育成・支援

プログラム名	実施施設	内容	対象者	H28実績	参加者の感想
滋賀県立近代美術館サポーター育成	滋賀県立近代美術館	美術館と来館者を結ぶ掛け橋として平成13年度より美術館サポーター制度を導入。展示作品解説、広報、教育イベントの補助(館外アウトリーチ活動を含む)の3本柱で様々な事業を実施している。平成28年度末現在で81名が登録されている。	満18歳以上で美術館の活動に興味がある者	施設改修に伴う休館を控えているため、平成28年度はサポーターの新規募集は行っていない。現行メンバーに対する研修は月一回定期的の実施し、その他個別指導も行っている。	「美術の見方、楽しみ方を教わりました」「頭の体操。ボケ防止にピッタリ」「本物を穴が開くほど見られる幸せ…仲間と作品について語り合えるのも楽しいです」「知らなかった世界に触れて、自分の世界が広がった」
びわ湖ホール舞台技術研修	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	【研修名】平成28年度 【内容】舞台機構・舞台装置／舞台進行／舞台照明／舞台音響・舞台映像の4つのコースでステージの裏方として基礎から実践までの講座を通し一つの公演を作る「参加型講習」です・	舞台関係およびプロを志す人材	【受講生】舞台関係者 募集定員40名 【スケジュール】 2月13日(月)技術基礎、安産講座、演出意図および台本の読み合わせ等 2月14日(火)仕込講座1日目(各コース毎に分かれての講座、作業) 2月15日(水)仕込講座2日目(各コース毎に分かれての講座、作業) 2月16日(木)テクニカルリハーサル 2月17日(金)通しリハーサル・意見交換・最終打ち合わせ講習 2月18日(土)成果発表	事業未実施のためアンケートはありません。
劇場スタッフワーク講座	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	【講座名】劇場スタッフワーク講座 【内容】劇場見学や実際の舞台裏見学、プロスタッフによる講習を経て、びわ湖ホールが企画する作品の制作に参加し、実際に観客の前で上演します。企画、プロデュース、共同制作、衣裳製作、リハーサル等を通して、デザイン力、制作力、行動力を高め、技術を習得し、本番の上演を通した貴重な経験から総合的な力を向上させる講座。受講学生は衣裳制作、音響、照明、映像、舞台装置、出演者等の希望の担当に分かれて制作を行います。	大学生	【受講生】大学連携協定を締結している立命館大学、成安造形大学、京都造形芸術大学の学生 80人 【スケジュール】 平成28年5月29日(日) びわ湖ホールにて講習、企画説明 平成28年6月15日(水) びわ湖ホールにて講習、施設見学 平成28年8月5日(金) オペラゲネプロ見学 平成28年9月24日(土) キックオフミーティング 平成28年10月30日(日) コンセプトミーティング 平成28年11月～平成29年1月 大学での講習(舞台映像作成、舞台装置制作、稽古) 平成29年2月13日～18日 公演準備リハーサル 本番	事業実施中のためアンケートはありません。
研修生の受け入れ	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	【研修生】公益財団法人守山市文化体育振興事業団 【研修期間】平成28年12月1日～平成29年1月31日 【概要】自主制作公演の企画・運営ノウハウの習得 【研修生】公益財団法人札幌市芸術文化財団職員 【研修期間】平成28年12月26日～平成30年1月1日 【概要】公益財団法人全国文化施設協会「劇場音楽堂等スタッフ交流事業」による研修生の受け入れ 【研修生】一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団職員 【研修期間】平成29年1月6日～平成29年2月19日 【概要】文化庁実演芸術連携交流事業による研修生の受け入れ	ホール職員	公益財団法人守山市文化体育振興事業団 1名 公益財団法人札幌市芸術文化財団職員 1名 一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団職員 1名	—
インターンシップの受入	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	インターンシップ希望のあった大学から大学生の受入を行っている。	大学生	成安造形大学1名、大阪音楽大学1名	—

滋賀県次世代創造 発信事業 アートマ ネジメント人材育成 講座	滋賀県立 文化産業 交流会館	アートマネジメントの考え方、文化芸術のはたす社会貢献、プレゼン テーション、コミュニケーションワークショップ、事業企画評価、介助 ワークショップ、資金調達など幅広い内容で参加者の文化力を高 め、文化芸術を創造・実践する人材を育成することを目的とする。	アートマ ネジメン トに興味 のある方	【開講内容】 平成28年8月27日(土)/アートマネジメントは何のため？ 平成28年9月3日(土)/文化芸術が果たす社会貢献とは？ 人を動かすプレゼンテーションの力①② 平成28年9月24日(土)/視点を変えるワークショップ /事業企画を評価するその視点とは①② 平成28年9月25日(日)/介助実践ワークショップ /中山間地域でのリアルな資金調達 【受講者数】 合計 161人	【参加者の感想】 ・初心を思い出せた。子供のためのホールに勤務しているので参考にな る部分が多かった。 ・文化行政の歴史などを具体的に聞いたことが良かった。 ・スピーチの内容を組み立てる方法がわかりやすく、講師の話も押し付け でなくよかった。 ・社会が求める機能(包摂機能、社会的効用)に目を向けることの大切さ を感じた。 ・日頃、疑問に思っていることや、もっと知識を深めたいと思っていること の解答を得た。 ・他の参加者との交流や、講師との質疑応答が参考になった。
琵琶湖の歴史を世 界に発信する事業	滋賀県立 安土城考 古博物館	安土城考古博物館の多言語化に向けての資料作成を補助する。	大学生・ 大学院生	平成28年9月～平成29年3月参加者2名	・「外国人観光客に向けての多言語の案内作成準備は、難易度が高いが 非常に勉強になります。」「博物館の展示への理解も深まったように思っ ます。」